

# 福島の課題は日本の課題 会津の課題解決策を日本の課題解決モデルへ！

## ① 新たな産業の集積

- ▶ 福島ロボットテストフィールド、福島国際研究教育機構（F-REI）と会津地域の機関連携の仕組みづくり促進。
- ▶ 県で進めている航空宇宙産業、先端的エネルギー産業の会津への集積。
- ▶ 農林業分野における先端技術の研究フィールドとしての活用推進。

## ② 続けられる農業の振興

- ▶ 地産地消を図る食農教育と農業科の取組みの県内波及と推進。
- ▶ 多様な農業人材確保のための求職者情報の発信。
- ▶ ハウス等初期投資軽減措置の仕組みづくり促進。
- ▶ 耕畜連携による堆肥や下水汚泥の国内有機肥料化の推進。
- ▶ 高収益作物の育成と販路拡大への支援。

## ③ 医療・福祉の充実

- ▶ 地域要望の高い高度医療機器の配置への支援。
- ▶ 医師の確保と医師の地域偏在の改善。
- ▶ 医療従事者の確保と医療連携体制の構築。
- ▶ 救急医療体制と在宅医療環境の整備。
- ▶ 障がい者福祉ネットワークの仕組みづくりと地域内就労環境の充実。
- ▶ 地域内介護福祉人材の確保・育成・定着の推進。

## ④ 安心な出産・子育て環境づくり

- ▶ 周産期医療の充実、産科医の確保。
- ▶ 出産育児、多子世帯への支援拡充。
- ▶ 18歳以下の医療費無料化の継続推進。
- ▶ 国産安心食材の学校給食提供と調理師待遇改善。
- ▶ 障がいのある子どもたちの地域内学びの環境構築。

## 江花圭司のプロフィール

生年月日 昭和50年9月2日 生  
塩川町立堂島小学校・塩川中学校 卒業  
県立会津高等学校 卒業  
日本大学 文理学部 応用物理学科 卒業  
会津大学発ベンチャー（株）シング 勤務  
会津IT産業協同組合 勤務  
ペロタクシー会津喜多方 設立  
NPO法人まちづくり喜多方 設立

会津喜多方青年会議所 副理事長  
喜多方市立第一小学校 PTA会長  
喜多方市議会議員（二期）議会運営委員長  
会津広域観光推進議員連盟 常務理事 事務局長  
福島県商工会議所青年部連合会 令和元年度 会長  
サイクリング喜多方協議会 監事  
会津ストリートカルチャーアカデミー 事務局長  
喜多方市子ども会育成会連絡協議会 事務局長

## 現在の主な役職

【公務】 農林水産委員会 副委員長  
【党務】 副幹事長、政務調査会副会長、青年部長  
福島県議会議員（一期）  
避難地域復興・創生等対策特別委員会 副委員長  
農林水産委員会 副委員長

喜多方市・耶麻郡選挙区  
農林水産委員会 副委員長



公式サイト



県政レポート特別号

福島県議会議員

江花 けいじ

西会津町、喜多方市、北塩原村  
磐梯町、猪苗代町のために  
各種SNSでも情報配信中！！



# 見る×聞く×決める×動く = 実現する力

## 会津北部豪雨災害からの復旧

■昨年の災害から復旧への取組み  
令和4年8月23日11時からの  
自民党災害対策会議へ  
前日まで被害調査してきた内容を  
森まさこ内閣総理大臣補佐官  
菅家一郎代議士が報告。



会津北部地域は激甚災害に  
指定されました。これにより  
災害復旧事業等への国庫補助  
中小事業者への保証の特例等  
特別財政の助成措置がされました。

## 西会津町 奥川地区 ■激甚災害の指定への調査



## 喜多方市 奥川地区 ■関係機関と連携し現地調査 JR磐越西線再開へ

落橋した濁川鉄橋が復旧し喜多方～山都間が4月1日約8ヶ月ぶりの全線再開。復旧した鉄橋を走る列車を手を振って歓迎しました。



## 米沢市・喜多方市 ■山形県議との連携

國直轄代行工事で再開通  
国道121号山形県側の崩落箇所が  
昨年10月24日に再開通したこと  
で秋の行楽シーズンに間に合いました。  
國の直轄工事により84日で再開通へ。



■国道121号高規格化へ向け  
高規格化へ国直轄道路として編入を  
促進し道路ネットワーク強化の整備  
のため米沢市と期成同盟会設立へ。

## 北塩原村 裏磐梯地区

### ■金山・早稲田・小野川地区の復旧

遠藤北塩原村長、菅家一郎衆議院議員と現地調査を行い、金山地区の土石流土砂撤去、早稲田地区の表土流失と河川の洗掘、小野川地区の土石流による土砂撤去、下水施設の復旧を地元業者の方々により作業が行われました。



## 猪苗代町

### ■中ノ沢温泉元湯の復旧予算の確保

日本最大の湯量を誇る中ノ沢温泉。8月豪雨により中ノ沢・沼尻温泉の源泉地から供給される温泉配水管、湯樋、湯の華採取施設が大規模に破損、町では、現状復旧するための温泉施設災害復旧事業補助金を計上し、復旧作業が行われました。後日、国から特別交付税措置がなされました。



### ■長瀬川護岸崩壊からの長瀬堰取入口復旧

猪苗代町の約1/3の田んぼを潤す長瀬堰。護岸の崩壊による早期に暫定復旧が行われ、擁壁の本復旧が行われました。



## 山都町、高郷町

### ■現在、本復旧工事が進行中

山都町の一ノ戸川における洗掘、農地への土砂流入や崩落現場の本復旧工事が進められ、農地への水利施設は、暫定復旧から本復旧へ。高郷町の農地災害の本復旧工事が進められております。



## 塩川町

### ■身神排水機場に除塵機と金場の整備へ

阿賀川河川事務所より、度重なる水害に悩まされてきた塩川地区。排水機のゴミ詰まりを除去する設備と、ポンプ車による排水のための水溜金場を設置することになりました。



## 江花圭司 一期4年のご挨拶

この度の10月福島県議会が一期4年間の最後の議会となりました。ここまで、お支えいただきました皆さんに感謝を申し上げますと共に、まだ、災害やコロナ禍で復旧、ご苦労されている皆様のため、最大限努力して取組んで参ります。

さて、この4年間は、令和元年の台風第19号、二度の福島県沖地震、会津北部豪雨災害に加えコロナ対策。平時が有難いということを痛感した4年間でした。しかし、9月に発生した浜通りの線状降水帯の被害は甚大で復旧途上です。それに加え、ロシアのウクライナ侵略。長期化による世界経済への打撃は、地域経済へも大きな影響を及ぼし物価高騰の波は、政府と県、市町村の連携無くしては、抑えることはできません。

市町村を運営する地方財源は、人口要件で算定していることから、国の交付金は人口減少に伴い減少傾向。現在、人口減少が進む地域の実情から算定するよう要望しています。市町村の自己財源は税収で、多くの自治体は三割自治と言われ、三割の自主財源である税収で賄う他は、国や県からの交付金で賄っている現状です。

このような仕組みでは、持続可能な社会は作れません。私たちは、7割の財源を独自に調達できる仕組みづくりを行なう必要があります。

江花圭司は、更なる活動に取組み、実現して参ります。

～あきらめない限り 打つ手は無限～

福島県議会議員 江花 圭司

## 成果 地域の方々からの声をカタチに

### 磐梯町

#### ■無散水消防施設修繕と転落防止ガードレールの設置

大寺地区の県道207号、無散水消防パイプの詰まりにより雪が溶けない事業を修繕。県道7号のカーブでスリップ事故による車両の転落事故が絶えないことによりガードレールを設置。



## 福島県議会 テレビ広報

### 「未来へつなぐ！ふくしま県議会」令和5年6月定例会編 ~学生のギモン！~ に出演



**学生のギモン①**  
質問に対する答えは  
もとから  
準備されているのか  
疑問に思いました。

**学生のギモン②**  
質問の順番とそれに  
対する答えの順番が  
違うのは分かりづら  
いと思いました。

【福島県議会公式チャンネル】この放送はYouTubeで公開中です。  
スマートフォンのカメラをQRコードにかざしてご覧ください。

